令和4年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

「地域や関係機関との連携を深め、児童生徒一人ひとりの障がいや発達等の状況に応じた、最も適切な教育の創造」をめざす。

支援学校として専門的機能を発揮し、教職員と児童生徒及び保護者との信頼とつながりを深めながら、以下のことを中心とした教育を展開する。

- (1) 卒業後を見すえ、小学部・中学部・高等部の一貫性のある教育活動を進める中で、豊かな人間性と社会性を育て、自己実現の達成をめざす。
- (2)健康の保持・増進に関する習慣や態度を育て、情緒の安定を図り、元気に明るく誠実に生きる態度を養う。
- (3)安心で安全な教育環境のもと児童生徒の豊かな個性を活かしつつ一人一人の自己肯定感を高める。
- (4) 仲間とつながり、地域の人々とともに生きていく喜びを実感する中で、互いを思いやり、尊重しあう態度を育てる。

2 中期的目標

- 1(キャリア教育)卒業後をみすえ、<u>自立・自己実現、社会参加</u>に向けた、小学部・中学部・高等部の<u>一貫性のある教育活動</u>を進める。
- (1) 小学部の段階から、ライフキャリアの視点に立ち、一人ひとりの教育的ニーズに応じたキャリア教育の推進。
- (2) 学部間の連携と情報共有を深め、小学部・中学部・高等部の連続性のある学びの構築とイノベーションの観点をふまえた教育活動の検証、改善を進めることによる組織の活性化。
- (3) 関係機関と連携し、生徒一人一人が希望する進路の実現及び就労移行を支援する体制の充実。
- 2 (教育力向上) 教員としての<u>資質と教育力の向上</u>とこれからの時代の変化に対応できる学校<u>組織力の向上</u>
- (1) 教員全員の指導力、授業力の向上を組織的に推進し、「学び続ける」教職員の育成。
- (2) 教職員一人ひとりがプロ意識、人権意識をより高め、組織として特別支援教育に関する専門性の向上をめざす。
- (3) 教員間の意思疎通を図り、健全で適正な同僚性のもと、全教職員が積極的に学校経営に参画する仕組みを整え、組織力の向上を図る。
- (4) ICT 機器の積極的かつ効果的な活用した取り組みの推進。
- 3 (安心安全) 児童生徒一人ひとりの人権を尊重し、児童生徒・保護者から信頼される安心・安全に過ごせる学校づくり
- (1) 教職員の見守る力で安全で安心な教育環境を整える。
- (2)危機管理体制の充実に向けた防災教育に取り組み「主体的に行動する態度」と「共助」に関する意識の向上。
- (3)体罰防止と個人情報の適切な管理運用を行う体制の確立。
- (4) 効率の良い業務推進で、心身ともに健康な状況で児童生徒に接する心構えを育成する。
- 4 (地域連携)支援学校としての<u>センター的機能の充実</u>と、児童生徒が地域社会の中で自己肯定感と自己有用感を高め豊かに生きるための<u>地域連携の推進</u>
- (1) 支援学校のセンター的機能の発揮や内容の充実。
- (2) 本校の取り組みを積極的に発信するなど広報活動の充実により保護者、地域、関係機関との連携を深める。
- (3) 交流及び共同学習の充実や地域活動への積極的参加で相互理解を深める。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析[令和年	月実施分]	学校運営協議会からの意見

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的 目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R3年度値]	自己評価
1 自立・自己実現、	(1)小学部の段階から、ライフキャリアの視点に立ち、一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育活動の推進。	ア 各学部で「子どもにつけたい力」について意見 交換を実施。 イ 「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」の より一層の活用 ・年間運用スケジュールについての検討 ウ 小中学部保護者に対する進路説明会等の実施	・各学部で「子どもにつけたい力」をどの教育活動に落とし込めるか検討する。(1回/4月)イ・今年度、スケジュールを見直し、目標提示を早めるための検討ができたか。 ウ・進路説明会等の実施1回以上 (字)「学校は子どもの将来の進路や職業について発達段階や実態に応じて適切な指導や助言を行っている」80%以上[76.8%]	
、社会参加に向けた、一貫性のある教育活動の推進	(2)学科・中続報のでは、高いのでは、10分割のでは、10	(2) ア 全校教育課程の構築 ・全校教科会議の新設実施[各学部での実施] ・小・中学部においては、R3 未検討の教科シラバスの見直しや修正を実施。 ・3学部の連続性、一貫性を重視した校外行事の検討のためPTの立ち上げと夏季集中PT会議実施 ・全学部において、時間割の見直しと検討 (3) ア 中学部生徒の進路選択における進路学習や体験学習の実施 高等部生徒の職場見学や実習体験等進路にかかわる学習を充実させる。 ・外部講師(企業、卒業生等)を活用した進路学習実施 ・職場見学や体験実習の機会増 ウ 定着支援、アフターフォローに向けた取り組みの充実	ができたか。 ・PTを立ち上げ夏季集中PT会議を実施できたか。 ・全校教育課程検討委員会にて月1回検討し、1月に提案できたか。 (3) ア・各学年で進路学習や体験学習が実施できたか。イ・外部講師(企業、卒業生等)を活用した進路学習実施3回/年・職業コース全生徒の就労 (1) 「生徒一人ひとりが適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい進路指導を行っている」70%以上[68.6%]	
	(1)教員全員の指導力、授業力の向上を組織的に推進し、「学び続ける」教職員の育成を行う。	(1) ア ICTを活用した授業の公開 イ 府内外の研修に積極的に参加し、伝達講習を実施するなど伝え広げる工夫を行う。 ウ 校内研修の充実を図る	ウ・付箋を活用し「研修の見える化」で振り返りができたか	
2 教員としての資質と教育力の向上と組織力の向上	(2)教職員一人ひとりがプロ意識、人権意識をより高め、組織として特別支援教育に関する専門性の向上をめざす。	(2) ア 専門性の向上 ・専門性に特化した人材(PT、OT、ST、SC、SSW、医師等)を活用した研修等実施 ・「自立活動」についての学びを深めるための研修実施 ・中学部卒業後の進路や高等部コース制への理解を深める イ 学びに向かう環境づくりの充実に向けた取り組み	⑦「児童生徒の実態を踏まえ指導内容や指導方法、学習の形態の工夫改善を行っている」85%以上[83.8%]・年度初めに1回実施・全校研修実施(各1回/年)イ「ヤングケアラー」「愛着障がい」について、指導教諭等による学習会を実施各1回実施	
	(3)教員間の意思 疎通を図り、健全で 適正な同僚性のもと、全教職員が積極 的に学校経営に参 画する仕組みを整	(3) ア 職場におけるハラスメントの防止 イ 教員間のコミュニケーション機会増 ウ 積極的なイノベーション提案	(3) ア 相談窓口の周知徹底 イ 外部講師によるメンタルヘルス研修(グループワーク等)を実施 ウ 意見箱に投入された意見について検討できたか。 (3) 「日々の教育活動における問題意識や悩みについて気軽に相談しあえるような職場の人間関	
	え、組織力の向上を図る。 (4) I C T機器の積極的かつ効果的な活用した取り組みの推進。	(4) ア"1人1台端末"を活用した協働的な学びの支援に向けて教育実践に役立つ内容の校内研修実施	係ができている」65%以上[60.0%] (4) ア・全体研修実施 1回/年(外部講師による) ・1~3件実践事例報告(各学部2回/年実施) 「1人1台端末を活用して、自らの授業で協働的な学びの支援を行ったことがある。」[新規項目]75%以上	
		上に ICT 機器を活用する。その実践を授業担当教員以外と共有する。		
		ウ CTを活用した教材づくり 	ウ・ホームページへの教材UP 各学部 10 件以上 [全校で 19 件]	

府立守口支援学校

(1) 利益権の必定 (1) 表示の企作 (1) を表示が最小時間 (1) およっとからでは、ア (2) というなが、					府立守口支援学校_
200 日本の日本語		(1)教職員の見守	(1)	(1)	
		る力で安全で安心	アの感染症対策の継続		
2 近世		な教育環境を整え	ノータフェーアルの目売した活用		
		る。	1 谷マニュアルの見直して沿用 		
② 「お貼の学生に対抗の大力・では、			ウ 道徳教育、人権教育の充実	i	
□ 1 安全信義体の他目で活達な利印					
	0				
クラック では、	3		 T 安全点検後の適正で迅速な対応		
プラットのでは、	人 # 左			1	
プラットのでは、	を				
プラットのでは、	尊				
プラットのでは、	ţ				
(イ) を関連して、 (ク) が認めが受害の方法に向けた時で、 (ク) が認めが受害の方法に向けた時で、 (ク) が認めが受害の方法を応じています。 (ク) が認めが受害の方法を応じています。 (ク) が認めが受害の方法を応じています。 (ク) が認めが受害の方法を応じています。 (ク) が認めが受害の方法を対していません。 (ク) が認めな受害を行う体制の程力。 (ク) 水準の見いに向したのできる意味の一般。 (ク) 水準の見いに向したのできる意味の一般。 (ク) 水準の見いに向したのできる意味のに向しています。 (ク) 水準の見いに向いたのできる意味の上で、 (ク) 水準の見いに向いたのできる意味の上で、 (ク) 水準の見いに向いたのできる意味の上で、 (ク) 水準の見いに向いたのできる意味の上で、 (ク) 水準の見いに向いたのできる意味の上で、 (名) 水準の見いに向いたのできる意味の上で、 (名) 水準の見いに向いたのできる意味の上で、 (名) 水準の見いに向いたのできる意味の上で、 (名) 水準の見いに向いたのできる意味のできる。 (名) 水準ののできる。 (名) 水準ののできる。 (名) 水準ののできる。 (本) 水準のできる。 (本) 水準のできる。 (本) 水準のから、 (本) 水準ののできる。 (名) 水準のから、 (名) 水準のか	児				
(イ) を関連して、 (ク) が認めが受害の方法に向けた時で、 (ク) が認めが受害の方法に向けた時で、 (ク) が認めが受害の方法を応じています。 (ク) が認めが受害の方法を応じています。 (ク) が認めが受害の方法を応じています。 (ク) が認めが受害の方法を応じています。 (ク) が認めが受害の方法を対していません。 (ク) が認めな受害を行う体制の程力。 (ク) 水準の見いに向したのできる意味の一般。 (ク) 水準の見いに向したのできる意味の一般。 (ク) 水準の見いに向したのできる意味のに向しています。 (ク) 水準の見いに向いたのできる意味の上で、 (ク) 水準の見いに向いたのできる意味の上で、 (ク) 水準の見いに向いたのできる意味の上で、 (ク) 水準の見いに向いたのできる意味の上で、 (ク) 水準の見いに向いたのできる意味の上で、 (名) 水準の見いに向いたのできる意味の上で、 (名) 水準の見いに向いたのできる意味の上で、 (名) 水準の見いに向いたのできる意味の上で、 (名) 水準の見いに向いたのできる意味のできる。 (名) 水準ののできる。 (名) 水準ののできる。 (名) 水準ののできる。 (本) 水準のできる。 (本) 水準のできる。 (本) 水準のから、 (本) 水準ののできる。 (名) 水準のから、 (名) 水準のか	童		オ 安心安全な通学指導の充実		
の元素に向けた時。 (2)					
#理用を行う体制 の確立。			(2)		
#理用を行う体制 の確立。	護				
#理用を行う体制 の確立。	者 か		・学習内容充実のための安全研修の実施		
#理用を行う体制 の確立。) 		イ 防災用備蓄品の管理と追加補充		
#理用を行う体制 の確立。	頼	に関する意識の向	 ウ PTA 関係機関と協働した防災体制の推進		
#理用を行う体制 の確立。	され	上。			
#理用を行う体制 の確立。	3			i	
#理用を行う体制 の確立。	学校				
7 個人情報の取り扱いに対する影類向上 (4) 効率の良い業((4) 効率の良い業((4) 効率の良い業((4) 効率の良い業((4) 効率の良い業((4) 対率の良い業((4) 対率の良い業((4) 対率の場のでは、 (4) 対策が表現で、の身とも、しての取り組みを実施((4) 対策が表現で、の身とも、しての取り組みを実施((4) アープライフバランスを意想した働き方への影響が変化((4) アープラインバランスを意想した働き方への影響が変化((4) アープラインバランスを意想した働き方への影響が変化((4) アープラインバランスを意想した働き方への影響が変化((4) アープラインバランスを意想した働き方への表達数型((4) アープ・ファイングラインスを表現で、 (5) アーズ・スークの作業を変化((5) 本板の取り組成の表達を対象に対象を表現でできた クラでが表する実体を対象に対象を表現でできた クラで変を力 ((2) 本板の取り活動に係る広報、事解答発音例の介護・活用したことがある。アーデを表別の表達を表現できたか。アーデを変かし、アープが変がし、アープが変がし、アープが変がし、アープが変がし、アープが変がし、アープを変がし、アープを変がし、アープを変がし、アーブの表別で表達した。アーデを変がし、アーブスをして、大き水の上に対かできたか。アーデを変がし、アーブスを見ています。アーブスをいたできたが、アーブスをいたできたが、アーズを表現できたか。アーデを対象でのあいきつ変数を表現できたか。アーブスをいたできたが、アーズを表現できたか。アーブスをいたできたが、アーズを表現できたか。アーブスをいたできたが、アーズを表現できたか。アーブスをいたができたが、アーブスを対象であると、アーブスを対象でのあいきつ変数を表現できたが、アーズを表現できたが、アーブスを表現できたが、アーブスを対象でのあいきつ変数を表現できたが、アーブスを表現できたが、アーブスを表現できたが、アーブスを表現できたが、アーブスを表現できたが、アーブスを表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	<u> </u>				
(4) 効率の良い等 (4) 効率の良い等 (4) 効率の良い等 (4) アークライア(ランスを意識した働きかへ	δ				
(4) 効率の良い業		O)UEIZ.			
(4) 効率の良い業 指進で、心身とも に健康な状況で見 童生徒に接する心 構えを育成。					
(4) 対車の良い様 類推進で、心身とも に健康な状況で見 重生使に接する心 構えを育成。 (1) 支展学校のセ ンターの機能の発 運や内容の充実 (2) 本校の取り組 みを積極的に発信 の充業が高等部設限の進路について連解 (2) 本校の取り組 みを積極的に発信 の発達とい意 (2) 本校の取り組 みを積極的に発信 のの選別をある。 (2) 本校の取り組 みを積極的に発信 のの選別を対したの差別をある。 (2) アームペーシの充実を図る の充実とはり保護 者、地域、関係機関との連携を除める。 (3) 交流及び以同 でに接近の下皮 でおび、のの機能の変か。 に自自)保護者参観の充実 ・ 1日 (全自)保護者参観の発度 ・ 20 アームペーシの充実を図る の で表したの表別を活動の形か ・ 2 においば、関係機関との連携を除める。 (3) 交流及び以同 で表したを表別を引動しに係るが最、理解皆免資料の の で表した。 では、関係を表別できたか。 ・ 1日 (全自)保護者参観の発度 ・ 1日 (全自)保護者を表別を解認に係るが最、理解性的反素 ・ 2 に接種が取り取ります。 ・ 1日 (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日				ワ 研究員から経過報告(伝達研修)1回/年実施 	
新進生で、過名は、		(4)効率の良い業		(4)	
選生死に接する心 構えを育成。 ・時間外在投稿間の上頭:原則月 45 時間、					
(1) 支援学校のセンター的機能の発揮の方案との連携強化					
(1) 支援学校のセンター的機能の発揮や内容の充実 (1) 関係機関との連携強化 (1) 支援学校の下央 (2) 本校の取り組みを積極的に発信 (2) 本校の取り組みを積極的に発信 (2) 本校の取り組みを積極的に発信 (2) 本校の取り組みを積極的に発信 (2) 本校の取り組みを積極的に発信 (2) 本校の取り組 (4) 表情極的に発信 (2) 本校の取り組 (5) 表情極的に発信 (2) 本校の取り組 (5) 表情極的に発信 (2) 不一人ページの充実を図る (2) が、					
フター的機能の発揮や内容の充実		情んど 目以。	4 300 時間以内をめる 9 。	相級」「「О以下[「12]	
理や内容の充実 イ しいました					
イ LSによる訪問相談の充実と効率化に向けた検証を構選し、LSが市教委へ指導部言する来权相談の機会を設定できた物域の診断に発信を発し、高等学校、高等部段階の進路について理解を発し、の発揮しました。(名学部1件)週[61 件] で			アー関係機関との連携強化 	3763 12137721 3772 2772132	
た検証と改善		種や内容の充実	 イ LSによる訪問相談の充実と効率化に向け		
(2) 本校の取り組 かを積極的に発信 するなど広報活動 の充実により保護 者、地域、関係機関 との連携を深める。 ・規やすいホームページに向けた検討 ・定期的なプログリPによる教育活動の紹介 イ 保護者参観の充実 ・1日 (全日) 保護者参観や参観週間の実施 っ 本校の教育活動に係る広報、理解啓発資料の で 学校案内」バンフ新規作成 ・学校紹介 DVD の作成の準備と活用 (R 5 完成に向けてPT) 工 連絡協議会実施(1回/年) ・選絡会意、市教更と実施できたか。 ・居住地校交流参加に向けた保護者への働きか はを行う。・近隣校(守口市立錦小学校・線中学校・原立門 東西高校・芦間高校・芦口東高校)との文化祭、 作品展での作品交流を通した交流を充実させる。 本語を記し対す育主報に活かして いる」75%以上[70.5%] ・万流酸のい中高等学校との交流の機会 を積極的に設け教育主報に活かして いる」75%以上[70.5%] ・大き順学校スポーツ大会、スポーツフェスタに 参加できたか。 ・支護学校スポーツ大会、スポーツフェスタに 参加できたか。 ・支護学校スポーツ大会を実施すること ができたか。 ・支護学校スポーツ大会を実施すること ができたか。 ・支護学校スポーツ大会を実施すること ができたか。 ・支護学校スポーツ大会を実施すること ができたか。 ・ 支護学校スポーツ大会を実施すること ができたか。 ・ 支護学校と連携協力して本大会を実施すること ができたか。 ・ 大きにか。 ・ 大きにか、 ・ 大きにか。 ・					
(2) 本校の取り組 みを積極的に発信 するなど広報活動 の充実により保護 者、地域、関係機関 との連携を深める。 (3) 交流及び共同 学習の充実や地域 活動への積極的診 地方で行う 地方で行う。 の高等部生徒が校外のスポーツ大会に出展での作品交流を充実させる。 高等部生徒が校外のスポーツ大会に出展での作品交流を充実とする。 イ 高等部生徒が校外のスポーツ大会に出展であれた。 ウ 地域でのあいさつ運動実施					
(2) 本校の取り組 みを積極的に発信 するなど広報活動 の充実により保護 者、地域、関係機関 との連携を深める。 100 (3) 交流及び共同 学習の充実や地域 活動への積極的参加で相互理解を深める。 (3) 交流及び共同 学習の充実や地域 活動への積極的参加で相互理解を深める。 (3) で、た会への世間をいまでは、一般をは一般を対象が表して、一のでは、一般をは一般を表しました。 (3) で、一般を表しまして、一体では、一般を表しました。 (3) で、一般を表しまして、一体では、一般を表しました。 一体の数のでは、一体の数のでは、一体のでは、一体を表しまして、一体を表しました。 (3) で、一般を表しまして、一体のでは、一体を表しました。 一体を紹介しな、一体の数のでは、一体のでは、一体を表しまして、一体を表しました。 (3) ア・市教委と連携して小中学校との居住地校交流、一体制の大家に、一体、一体制の大家に、一体制の大家に、一体、一体制の大家に、一体、一体制の大家、一体制を表示的大家、一体制の大家、一体制の大家、一体制を表示的大家、一体制の大家、一体制の大家、一体制の大家、一体制を表示的大家、一体制の大家、一体制、一体制、一体制、一体制、一体制、一体制、一体制、一体制、一体制、一体制				ワ 説明会実施 2 回/年 	
		(2)本校の取り組			
の充実により保護者、地域、関係機関との連携を深める。 80 機能の		みを積極的に発信		(2)	
* を 地域、関係機関 との連携を深める。 * 定期的なプログリアによる教育活動の紹介	4				
をの連携を深める。	セ				
てい連携を深める。	ンタ		~ たがららなく ロン ローにの ひ状 同心 却でから		
・居住地校交流参加に向けた保護者への働きかけを行う ・近隣校(守口市立錦小学校・錦中学校・府立門真西高校・芦間高校・守口東高校)との文化祭、作品展での作品交流を通した交流を充実させる。 イ 高等部生徒が校外のスポーツ大会に出場しやすい環境の整備やクラブ活動の充実を通して、大会への出場機会を確保し、生徒の余暇活動の充実を図る。 ウ 地域でのあいさつ運動実施 ウ 高等部生徒会による校外でのあいさつ運動を	1	この迷捞な床める。			
・居住地校交流参加に向けた保護者への働きかけを行う ・近隣校(守口市立錦小学校・錦中学校・府立門真西高校・芦間高校・守口東高校)との文化祭、作品展での作品交流を通した交流を充実させる。 イ 高等部生徒が校外のスポーツ大会に出場しやすい環境の整備やクラブ活動の充実を通して、大会への出場機会を確保し、生徒の余暇活動の充実を図る。 ウ 地域でのあいさつ運動実施 ウ 高等部生徒会による校外でのあいさつ運動を	機				
・居住地校交流参加に向けた保護者への働きかけを行う ・近隣校(守口市立錦小学校・錦中学校・府立門真西高校・芦間高校・守口東高校)との文化祭、作品展での作品交流を通した交流を充実させる。 イ 高等部生徒が校外のスポーツ大会に出場しやすい環境の整備やクラブ活動の充実を通して、大会への出場機会を確保し、生徒の余暇活動の充実を図る。 ウ 地域でのあいさつ運動実施 ウ 高等部生徒会による校外でのあいさつ運動を	能の				
・居住地校交流参加に向けた保護者への働きかけを行う ・近隣校(守口市立錦小学校・錦中学校・府立門真西高校・芦間高校・守口東高校)との文化祭、作品展での作品交流を通した交流を充実させる。 イ 高等部生徒が校外のスポーツ大会に出場しやすい環境の整備やクラブ活動の充実を通して、大会への出場機会を確保し、生徒の余暇活動の充実を図る。 ウ 地域でのあいさつ運動実施 ウ 高等部生徒会による校外でのあいさつ運動を	充		SANTINAS II ISV		
・居住地校交流参加に向けた保護者への働きかけを行う ・近隣校(守口市立錦小学校・錦中学校・府立門真西高校・芦間高校・守口東高校)との文化祭、作品展での作品交流を通した交流を充実させる。 イ 高等部生徒が校外のスポーツ大会に出場しやすい環境の整備やクラブ活動の充実を通して、大会への出場機会を確保し、生徒の余暇活動の充実を図る。 ウ 地域でのあいさつ運動実施 ウ 高等部生徒会による校外でのあいさつ運動を	美と				
・居住地校交流参加に向けた保護者への働きかけを行う ・近隣校(守口市立錦小学校・錦中学校・府立門真西高校・芦間高校・守口東高校)との文化祭、作品展での作品交流を通した交流を充実させる。 イ 高等部生徒が校外のスポーツ大会に出場しやすい環境の整備やクラブ活動の充実を通して、大会への出場機会を確保し、生徒の余暇活動の充実を図る。 ウ 地域でのあいさつ運動実施 ウ 高等部生徒会による校外でのあいさつ運動を) 地	0 _ 1,0,1,10,1,			
・居住地校交流参加に向けた保護者への働きかけを行う ・近隣校(守口市立錦小学校・錦中学校・府立門真西高校・芦間高校・守口東高校)との文化祭、作品展での作品交流を通した交流を充実させる。 イ 高等部生徒が校外のスポーツ大会に出場しやすい環境の整備やクラブ活動の充実を通して、大会への出場機会を確保し、生徒の余暇活動の充実を図る。 ウ 地域でのあいさつ運動実施 ウ 高等部生徒会による校外でのあいさつ運動を	連			1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
が推進 けを行う ・近隣校(守口市立錦小学校・錦中学校・府立門 真西高校・芦間高校・守口東高校)との文化祭、作品展での作品交流を通した交流を充実させる。 イ 高等部生徒が校外のスポーツ大会に出場しやすい環境の整備やクラブ活動の充実を通して、大会への出場機会を確保し、生徒の余暇活動の充実を図る。 ウ 地域でのあいさつ運動実施 ウ 高等部生徒会による校外でのあいさつ運動を	173				
真西高校・芦間高校・守口東高校)との文化祭、作品展での作品交流を通した交流を充実させる。 イ 高等部生徒が校外のスポーツ大会に出場しやすい環境の整備やクラブ活動の充実を通して、大会への出場機会を確保し、生徒の余暇活動の充実を図る。 ウ 地域でのあいさつ運動実施 ・ 支援学校スポーツ大会、スポーツフェスタに参加できたか。 ・ 支援学校スポーツ大会事務局として、他支援学校と連携協力して本大会を実施することができたか。 ・ 支援学校スポーツ大会事務局として、他支援学校と連携協力して本大会を実施することができたか。 ・ 支援学校スポーツ大会事務局として、他支援学校と連携協力して本大会を実施することができたか。 ・ 支援学校スポーツ大会事務局として、他支援学校と連携協力して本大会を実施することができたか。 ・ 支援学校スポーツ大会事務局として、他支援学校と連携協力して本大会を実施することができたか。	推	w.√∞°		を積極的に設け教育全般に活かして	
作品展での作品交流を通した交流を充実させる。 イ 高等部生徒が校外のスポーツ大会に出場しかすい環境の整備やクラブ活動の充実を通して、大会への出場機会を確保し、生徒の余暇活動の充実を図る。 ウ 地域でのあいさつ運動実施 イ・支援学校スポーツ大会、スポーツフェスタに参加できたか。 ・支援学校スポーツ大会事務局として、他支援学校スポーツ大会事務局として、他支援学校と連携協力して本大会を実施することができたか。 ・ 高等部生徒会による校外でのあいさつ運動を	進				
る。 イ 高等部生徒が校外のスポーツ大会に出場しかすい環境の整備やクラブ活動の充実を通して、大会への出場機会を確保し、生徒の余暇活動の充実を図る。 ウ 地域でのあいさつ運動実施 ・支援学校スポーツ大会、スポーツフェスタに参加できたか。 ・支援学校スポーツ大会事務局として、他支援学校と連携協力して本大会を実施することができたか。 ウ 高等部生徒会による校外でのあいさつ運動を					
しやすい環境の整備やクラブ活動の充実を通して、大会への出場機会を確保し、生徒の余暇活動の充実を図る。 ・支援学校スポーツ大会事務局として、他支援学校と連携協力して本大会を実施することができたか。 ウ 地域でのあいさつ運動実施 ・ 支援学校スポーツ大会事務局として、他支援学校と連携協力して本大会を実施することができたか。 ウ 地域でのあいさつ運動実施 ・ 支援学校スポーツ大会事務局として、他支援学校と連携協力して本大会を実施することができたか。					
して、大会への出場機会を確保し、生徒の余暇 き支援学校スポーツ大会事務局として、他支援 学校と連携協力して本大会を実施すること ができたか。 ウ 地域でのあいさつ運動実施 ウ 高等部生徒会による校外でのあいさつ運動を					
活動の充実を図る。					
ができたか。 ウ 地域でのあいさつ運動実施 ウ 高等部生徒会による校外でのあいさつ運動を					
				i i	
			ウ 地域でのあいさつ運動実施		
				前期・後期に 1 回ずつ実施	